

2024年2月16日

株式会社ヴィス

2024年3月期第3四半期決算説明動画書き起こし記事公開のお知らせ

ワークデザインを手掛ける株式会社ヴィス（本社：大阪市北区、代表取締役社長：金谷智浩、東証スタンダード：5071）は2024年3月期第3四半期の決算説明動画（IRTV）を書き起こし記事として公開しましたのでお知らせします。

目次

■ [ビジネスモデルについて](#)

■ [2024年3月期第3四半期連結業績](#)

- [外部環境](#)
- [連結業績](#)
- [プロジェクト事例](#)
- [主要 KPI 推移](#)
- [四半期売上高/営業利益](#)
- [四半期受注高/受注残](#)
- [2024年3月期業績予想](#)

IR TV

東証スタンダード 5071

ヴィス

決算速報

2024年3月期 第3四半期決算



.....
(記事本文)

(金谷) 株式会社ヴィス、代表取締役社長の金谷でございます。本日はお忙しい中、動画のご視聴頂きありがとうございます。2024年3月期第3四半期の決算説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

本日のメニューですが、当社ビジネスモデルの話を軽くさせて頂いて、決算についての話をさせていただきます。

・ビジネスモデル

当社にはパーパスがありまして、「はたらく人々を幸せに。」というものと、「オフィスデザイン」から「ワークデザイン」と、ポートフォリオを広げて、働いている空間だけでなく、働いている一人ひとりが自己実現して働き幸せになっていく世界を実現させるために事業を行っております。

フィロソフィー



PURPOSE

はたらく人々を幸せに。

AMBITION

私たちがからできる「ワークデザイン」によって、
はたらく空間やしぐみを進化させ、
一人ひとりの想像力と創造力をひきだし、
人と人の多彩なつながりを生みだす。
だれもが自分らしく、
最大の力を発揮しながらはたらくことができる社会へ。
新たな価値や感動がずっと生まれるよう企業や組織と共創し、
人々の幸せがふくらんでいく世界を実現します。

Copyright © VIS CO., LTD. All rights reserved. 00

ワークデザインというフローがございますが、デザインして物を作る事から、コンサル領域のプログラミングと呼ばれる部分から始まって、更に作った物をアップデートさせていくフローを作りながら、お客様に継続的な付加価値を提供します。

ビジネスモデル

データに基づく継続的なデザインフローと
理想を叶えるための横断的なソリューションで
「はたらく」をデザインする。



Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 05

ビジネスモデル

働く環境や働き方をデザインする
「ワークデザイン」に関するサービスを提供



Copyright© V&S Co., Ltd. All rights reserved. 05

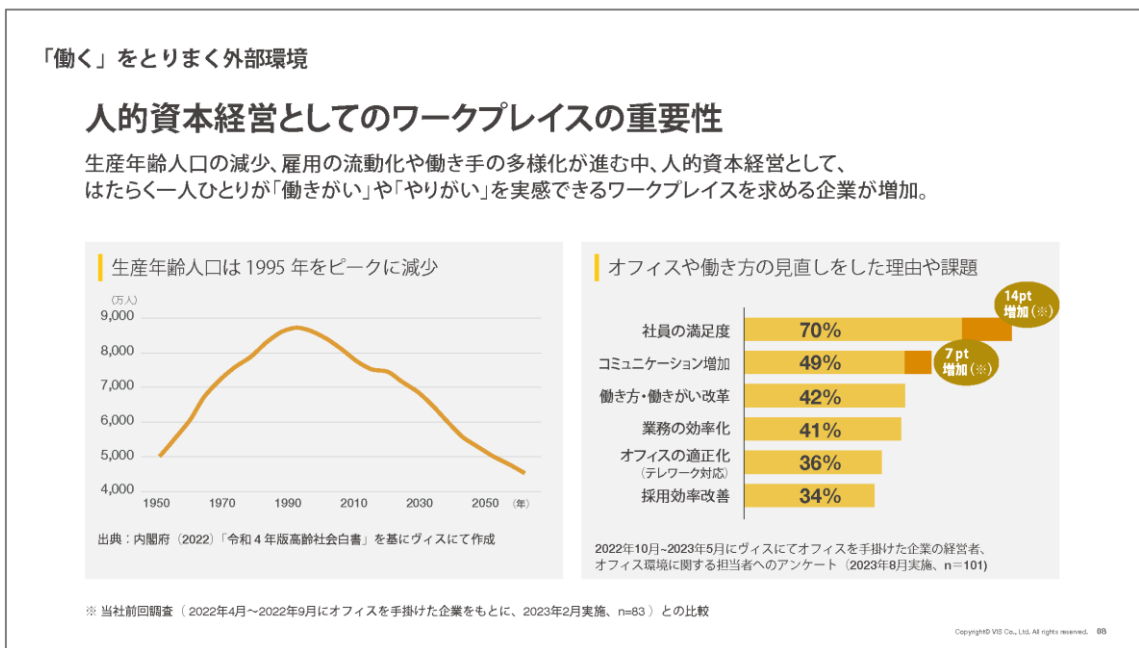
セグメントは3つあり、ブランディング事業とプレイスソリューション事業、データソリューション事業です。オフィスデザインだけでなく、ウェブデザインやグラフィックデザインを通じて企業のブランドをトータルにデザインさせて頂いております。また「The Place」というシェアオフィス・コワーキングオフィス併設のフレキシブルオフィスを運営しており、このノウハウを活用しながら事業用のビルのバリューアップに繋がるご提案をしております。

またそこで様々なノウハウが貯まってきており、データソリューション事業にて『ワークデザインプラットフォーム』というツールを活用しながらお客様にコンサルティングさせていただく流れになっております。

■2024年3月期第3四半期連結業績

・外部環境

足元のマーケットとしましては、生産年齢人口が下がっている関係もあり、各企業で採用のブランディングを行なっているところで、オフィスに人的資本としての投資をしています。当社のお客様でもオフィスや働き方の見直しをしたいという背景にあるのが、やはり大半が社員の方の満足度を上げたい企業様が多いわけです。やはり社員が来たくなくなるようなオフィスを作りたいという理由で案件が増加しています。



・連結業績

数字の部分ですが、売上高が99億13百万円です。こちらが前年同期比1.8ポイント増です。営業利益は9億2百万円、こちらは前年同期比97.4%で若干昨対を下回る結果となりました。昨年の第2四半期にあった特需の案件を（過去のIR動画を見て頂ければわかると思いますが）昨対を越えてきたという事で売上高は堅調とご理解頂ければと思います。ただ営業利益が若干下回った部分は、東京オフィスの移転が9月にあり、『The Place Shibuya』の開設に対して、大きな投資を行いました。後は賃金制度を少し見直して従業員への投資という事で、営業利益が前年同期比を下回っております。また大規模案件の受注において23件、額にすると40億円弱の数字が大型案件によって構成されている所が当期の特徴と感じております。

2024年3月期 第3四半期連結業績 エグゼクティブサマリー

(2023年4月～12月累計)

売上高	9,913 百万円	前年同期比 101.8%
営業利益	902 百万円	前年同期比 97.4%
トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京オフィス移転、The Place 開設などへの投資や賃金制度の見直しなどの人的資本への投資により、累計営業利益は前年同期を下回ったものの、3Qとしては過去最高の売上高、営業利益を更新 ● 大規模案件(1億円以上)の受注件数:23件 (3,936百万円) 	

Copyright© VII Co., Ltd. All rights reserved. 09

こちらの数字は昨年と今期の業績を並べて表記しております。売上高に関しては先ほど申し上げた通り、ご確認をお願いします。

2024年3月期 第3四半期連結業績

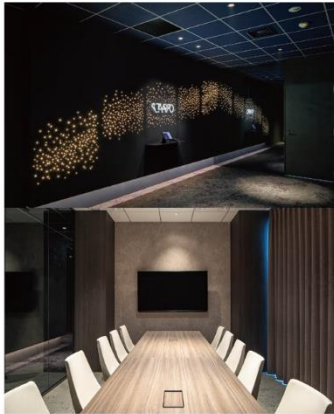
(2023年4月～12月累計)(百万円)

	23/3期 Q3	24/3期 Q3	前年同期比
売上高	9,741	9,913	101.8%
売上総利益	2,531	2,682	106.0%
営業利益	926	902	97.4%
経常利益	919	889	96.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	614	562	91.7%
EPS (円)	74.84	68.42	91.4%

Copyright© VII Co., Ltd. All rights reserved. 11

・プロジェクト事例

社員のエンゲージメント向上や働き方を見直す多様な業種からオフィスデザインプロジェクトを受注



株式会社スターラボ
 規模 136坪 / 450㎡
 場所 東京都港区
 業種 人材



株式会社日阪製作所
 規模 1,427坪 / 4,717㎡
 場所 奈良県生駒市
 業種 産業機械製造販売業



エムケイ株式会社
 規模 201坪 / 665㎡
 場所 京都府八幡市
 業種 タクシー事業

Copyright © VII Co., Ltd. All rights reserved. 10

こちらの写真は第3四半期に完工させて頂いたお客様の一例です。元々ベンチャー企業に強いと我々としても自負して事業を行なっておりますが、やはり大きな会社様の働き方も変わってきておりまして、大小問わず様々なお客様からの案件が増えております。

・主要 KPI の推移

事業の戦略ポリシーについては、オフィスデザインの件数を追いかけるのではなく、一件の単価を上げて付加価値を向上していく事と、件数を追い求める代わりに、受注率の向上を方針として出しております。

主要 KPI

ブランディング事業 主要 KPI

オフィスデザインの件数・単価・受注率をKPIとし、単価と受注率向上を目指す。



- ・オフィスプロジェクト発足段階からの支援
- ・設計・デザイン案件の増加
- ・CIデザイン領域の拡大

- ・SFA ツールの導入による受注分析
- ・事業部を横断したプロジェクトチーム体制
- ・完工後のアップデートによるリピート率向上

Copyright © VII Co., Ltd. All rights reserved. 12

実際に第3四半期の状況ですが、プロジェクトの件数は149件と減少しておりますが、プロジェクトの単価自体が3457万円と、かなり大きなプロジェクトになってきております。受注率は横ばいになっておりますので、方針の結果が数字に現れてきていると考えております。

主要KPI推移 ※1

オフィスデザインプロジェクトの引き合い件数は減少したものの、
プロジェクト単価が向上し、売上高に寄与。

	23/3期				24/3期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
プロジェクト (引き合い) 件数 ※2	161	169	172	202	171	168	149
プロジェクト単価 (千円) ※3	20,650	38,121	22,897	23,731	21,324	28,654	34,572
受注率	62.1%	63.9%	66.3%	70.3%	77.8%	64.3%	63.1%

※1 ブランディング事業のオフィスデザインについての指標。

※2 当該四半期に売上予定であった引き合いの合計件数。(受注、失注を含む)

※3 引き合いから受注し、当該四半期で売上計上されたプロジェクトの平均単価。

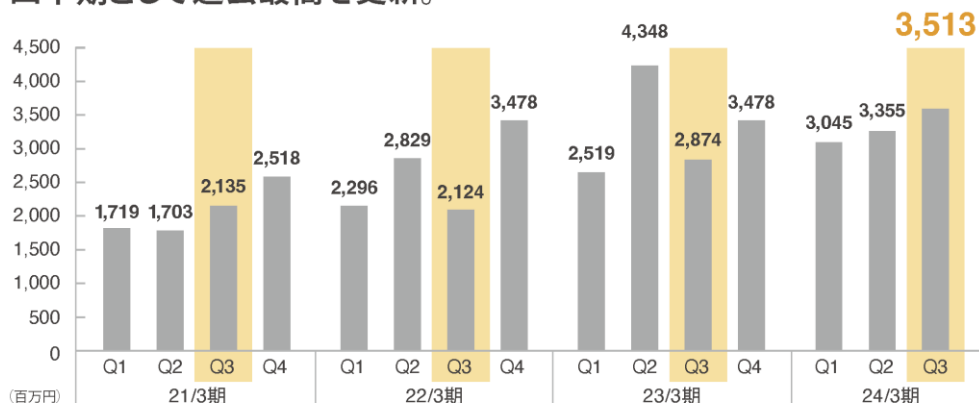
Copyright © V&S Co., Ltd. All rights reserved. 13

・四半期売上高/営業利益

また四半期の売上高はある程度大規模の案件が完工した事で35億円強となり、第3四半期として過去最高を更新しました。営業利益に関しても第3四半期として過去最高を更新しました。

売上高推移(四半期)

四半期売上高(Q3)は大規模案件が完工した影響で35億円となり、
四半期として過去最高を更新。

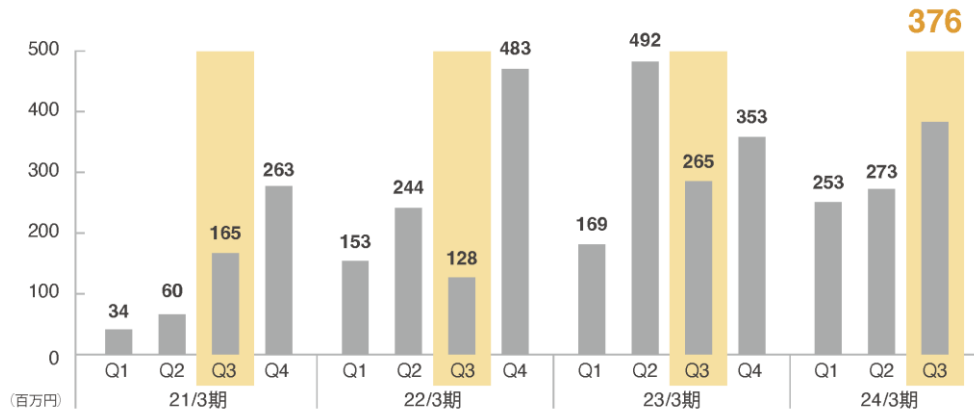


※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。

Copyright © V&S Co., Ltd. All rights reserved. 14

営業利益推移(四半期)

四半期営業利益(Q3)は3.7億円となり、四半期として過去最高を更新。



※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。

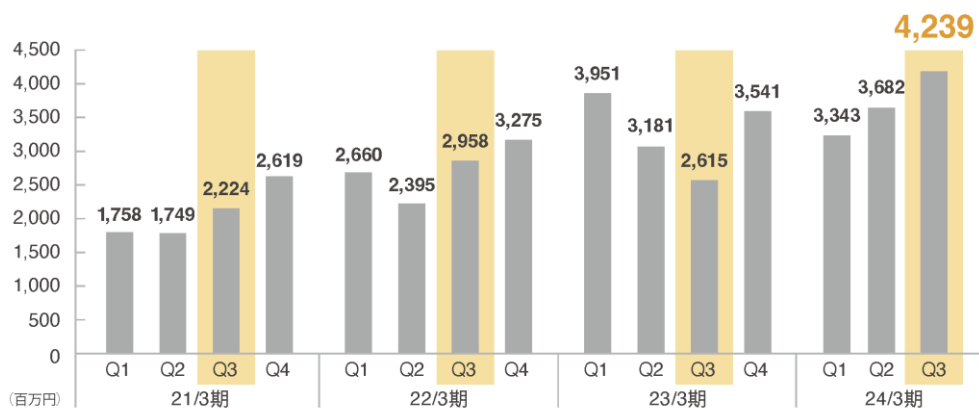
Copyright © MS Co., Ltd. All rights reserved. 15

・四半期受注高/受注残

また第3クォーターの受注高に関しては42億円となり、こちらは四半期と言わず通期を通して過去最高を更新しました。受注残に関しては35億円とこちらも四半期間わらず過去最高を更新しました。先ほども申し上げたマーケットがかなり追い風になっている事も後押しを頂いて、この結果となりました。

受注高推移(四半期)

四半期受注高(Q3)は、42億円となり、過去最高を更新。

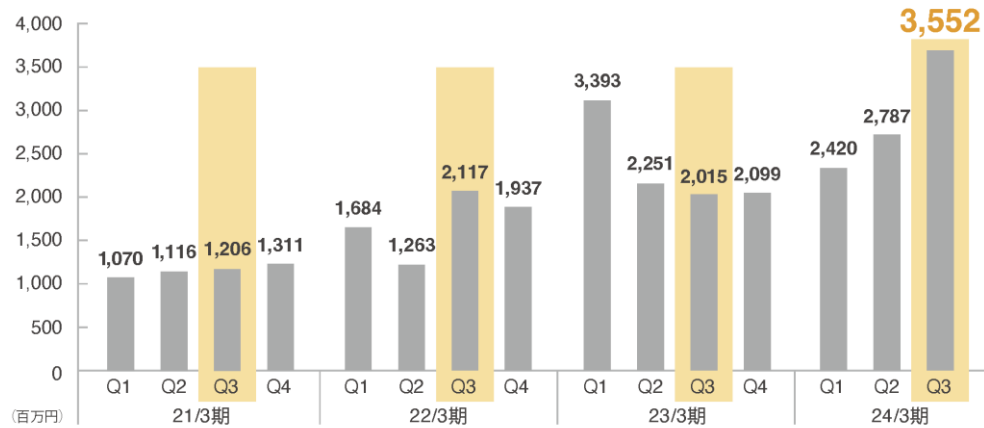


※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。
 ※受注高には、不動産の賃料収入を含めておりません。

Copyright © MS Co., Ltd. All rights reserved. 16

受注残推移(四半期)

受注残(Q3)は35億円となり、過去最高を更新。



※当社は2023年3月期より連結決算に移行しております。上記では、業績の推移をご覧いただくため、2022年3月期までの実績は単体の数値を用いております。

※受注残には、不動産の賃料収入を含めておりません。

Copyright© VSI Co., Ltd. All rights reserved. 17

・2024年3月期業績予想

この結果、売上高が通期134億5300万円と、101.8%。営業利益は13億2100万円と103.2%と期首予想通り増収増益の見込みで推移しております。

2024年3月期 連結業績予想 サマリー

増収増益の見込み

当初予想を大幅に上回った前年実績を超え、増収増益の見込み

2024年 3月期 予想	売上高	13,453 百万円	前年同期比 101.8%
	営業利益	1,321 百万円	前年同期比 103.2%

※ 上記は期首に発表した業績予想であり、変更はございません。

Copyright© VSI Co., Ltd. All rights reserved. 18

あとは参考資料となりますのでお時間ある際にご覧いただければと思います。本日はお忙しい中動画のご視聴ありがとうございました。

(記事以上)

【会社概要】

社名：株式会社ヴィス

代表者：代表取締役会長 中村勇人 代表取締役社長 金谷智浩

事業内容：ブランディング、データソリューション、プレイスソリューション

設立：1998年4月13日

上場市場：東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード：5071)

HP：<https://vis-produce.com/>

【決算説明動画】

URL：https://www.youtube.com/watch?v=2hpLvurJw_A

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ヴィス IR担当

E-Mail：ir@vis-produce.com